



広瀬容子 (ひろせ・ようこ)

hirose@rapidswide.com

フリー・ライブラリアン / 女性エンパワー ドル活ウォッチャー

f yoko.hirose i liccadori1227
#ライター #著者 #専門家

【これまでの仕事】

図書館をとりまく業界で、営業、マーケティング、コンサルティング、調査、分析などを行ってきた 30 余年のキャリアにもとづく、ちょっぴり固めの仕事です。

フリー・ライブラリアンとして



単著

「Use of Private Sector Dynamism in Japanese Public Library: Ebina City Central Library」
(2017, BIBLIOTHEK Forschung und Praxis)
カルチャ・コンビニエンス・クラブが運営する海老名市立図書館と、日本の公共図書館を取り巻く状況について英語で解説。ドイツの図書館専門誌に掲載。
英語による執筆も可能です。



単著

「ライブラリアンのためのスタイリング 超入門」
(2018, 樹村房)
専門性の高い司書の社会的認知度が低いのはなぜか。司書の服装や髪型などの外見を切り口に、司書のプロフェッショナルリズムのあり方を取り上げた日本で初めての本。現在、大手出版社にて漫画化企画中



分担翻訳

「イデオロギーと図書館：日本の図書館再興を期して」マイケル・K・バックランド 著 高山 正也 監訳・著作協力 現代図書館史研究会 訳(2021年, 樹村房)
日本占領期における図書館の成り立ちを歴史的に概観した専門書。第4章と第12章の翻訳を担当。
翻訳も可能です。

女性エンパワーとして

同じケースはそうそうない自身の「てんこ盛り人生」を背景に、女性エンパワメントをテーマとした取材、執筆が得意です。



単著

10 回連載「ワーキングウーマン奮戦記」(経営情報誌オムニマネジメント) (2015 ~ 2016, 日本経営協会)
夫と死別後 36 歳で 4 人の子供を連れて渡米、大学院で学んだ自身の体験談やその後の日本での再就職、営業、シングルマザーの子育て、独立起業など、ワーキングウーマンを軸に幅広い内容で連載執筆。



単著

「広瀬容子の寡婦年収 300 万円からの人生大逆転—4 人子連れアメリカ大学院留学奮戦記」
(hiroseyoko.com)
夫と死別し年収 300 万で一家の大黒柱に。4 人の子供を連れアメリカの大学院に子連れ留学し、自身と家族を再創造した話をブログで執筆。



取材協力

「一期一会の出会いが形作る留学.留学のすすめ」
http://ryugaku-susume.jp/specialinterview/yoko_hirose/
留学に関するトピック全般を扱う相談サイト「留学のすすめ.jp」におけるインタビューで取材協力したものの。

【今後取り組みたい仕事】

ドールハウス作家やドール服作家、ドールをキャストに見立てたストーリー作家等、様々なアプローチで「ドル活」をする国内外の人々にインタビューし、その魅力を浮き彫りにしたい！

ドル活ウォッチャーとして



リカちゃん、バービー、ポピーパーカー、ブライスなど、1/6 サイズドールにリアルクローズを着せ、ドールハウスやミニチュアフードを手作りし、Instagram にのせる「ドル活」は世界中の大人たちの間に広まっています。ハッシュタグを用いて同じテーマでポストをしたり、ドール服やミニチュア作品の販売、プレゼント企画、交換会なども盛んに行われています。この世界を深堀する仕事がしたいです。
(写真は自身の Instagram より liccadori1227)